

鴨居連合自治会

設立30周年記念誌



鴨居会館



鴨居中央会館



鴨居連合自治会役員研修会
(会員の健康を祈願)

平成30年(2018年)1月21日
鴨居連合自治会



・ 連合自治会発足の経緯

古い文献によると鴨居町内会は昭和47年4月に設立され初代会長は岩岡藤作氏と記してあります。ちなみに当時の戸数は1,082世帯となっています。その後、JR横浜線の複線化が進み地域の宅地開発・造成が進み人口も爆発的に増加する事態へと変化してきたことから、人口の急増に伴う町内会の在り方の検討が話題と成りました。

昭和63年4月1日に鴨居を8地区自治会に分区して鴨居連合自治会が誕生しました。初代連合会長は黒滝 稔（故人）、その後の連合会長は、第2代会長柳下 勤（故人）、第3代会長吉田昌美、第4代会長柳下利一（故人）、第5代会長板垣憲明、第6代会長木村 赳と続き、30年を経て今日の祝賀の催事を迎えるに至りました。

・ 自治会活動

私が自治会活動に関わった頃、字・中村に在った鴨居会館へ頻繁に通い自治会の下働きから始まりました。当時は殆どが地元の人で、私の様な「よそ者」は現相談役狩野氏の奥様（故人）と二人しかいません。その中でも全員が快く迎えてくれたことが心地よく、今日まで続けられた大きな賜物ではないかと思えます。

・ 杉山神社との関わり

また昭和49年頃偶然杉山神社へ参拝することができましたが、神社の第一印象は「廃墟」の感がありました。何人かに尋ねてみても余り関心が無く、特に夜半通り抜ける人も気味悪く逃げるように通り過ぎて行くとの声が聞こえました。神社の復興に取り組み、ゴミ清掃から始まり、大晦日の催事の取り組み等順次盛会につながり、世話人会から奉賛会へと今日の姿が出来たことが鴨居連合自治会の拠点となる会館の神社敷地内への建設に結びつき、今日、そして今後の連合自治会の活動の基礎になったのではないかと思えます。

目次

1.	鴨居連合自治会30周年を迎えるにあたって	- 2 -
2.	お祝いのことば	
3.	主要な活動	- 3 -
3-1	桜まつり	
3-2	盆踊り	
3-3	神輿	
3-4	運動会	- 4 -
3-5	悪魔祓い	
3-6	どんど焼き	- 5 -
3-7	鴨居賀詞交歓会	
3-8	節分祭	
3-9	いきいきサロン鴨居／タどきサロン鴨居	- 6 -
3-10	鴨居駅開業50周年記念事業	
3-11	各種ボランティア団体の活動紹介	
4.	安全・安心・健康のまちづくりに向けて	- 7 -
4-1	チョイボラの開始	
4-2	ささえあい	
4-3	防災・防犯活動	
4-4	自治会加入促進	
4-5	後継者の育成	- 8 -
4-6	郷土芸能保存会「鴨居囃子連中」の継続・発展に向けて	
5.	鴨居連合自治会の歩み	- 9 -
6.	鴨居連合自治会区域図と施設・遺産	(裏表紙)

鴨居連合自治会 30周年を迎えるにあたって



鴨居連合自治会会長 木村 越

昭和37年12月に鴨居駅が出来、鴨居の人口が急増し、町名変更が余儀なくなった昭和63年に、鴨居町自治会を8つの単位自治会に分割し、新治東部連合自治会から分離、鴨居連合自治会を組織してから30年になりました。これには相当の苦労があったと聞き及んでいます。広い道路を基準に町名分割しようと試みたが「今まで隣土士の仲良しさんの間に線を引くとは何事だ」、「おまえに何の権利がある」などと罵られたりしたそうです。現在の4丁目が異常に広い範囲となり、何をしても動きが悪くなってしまったのはそんな理由があったそうです。

30年前（昭和63年）の鴨居は4,541世帯、人口13,298人であったが、今は6,920世帯15,300人に膨れあがっております。

連合会長も私で6代目となりました。発足当時に比べ今では諸々の行事や催し物が多くなり、自治会も楽しくなりましたが忙しくもなりました。少子高齢化の波がこの鴨居にも押し寄せ、高齢化率は40%と高く、これからの自治会を担う役員のなり手が少なくなるのが心配されます。そんな中チョットした助け合い組織「チョイボラ」がスタートします。みんなで育てていきましょう。

お祝いのことば



緑区長 小野崎 信之

鴨居連合自治会結成30周年、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

鴨居地区は、自治会活動を始め、まちづくりや福祉など様々な分野で活動が盛んな地区として、地域における自治のモデルとなるような存在であり、郷土を愛する住民の皆様の熱い思いとともに、活動の基盤としての地域の絆がしっかり結ばれていると日頃から感じております。

また、これまでの歴史を振り返りますと、地域の方々の請願によって鴨居駅が設置されて以降、開発に伴う住宅や事業所の増加により急速に市街地が形成されましたが、都市化が進むなかでも、歴史的遺産やまとまった緑などの自然が、今日まで保全されてきました。そこには先人たちの大変なご尽力があったわけですが、素晴らしい風土、有形・無形の遺産、豊かな自然を、地域の貴重な資源として後世に継承していこうと、今も大切に守っていただいている皆様に、心からの敬意と深い感謝の意を表する次第です。

今後も、鴨居地区が、皆様にとって安全で安心して暮らせ、魅力と活力に溢れるまちであり続けるよう、区役所は、地域の要である鴨居連合の皆様と一緒に努力してまいりますので、どうぞお力添え下さるようお願い申し上げます。

結びにあたり、30周年を契機とした鴨居連合のますますのご発展と、会員の皆様のご多幸を祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。

3. 主要な活動

3-1 桜まつり

鶴見川右岸の鴨居地区堤防に平成12年3月緑区制30周年記念で植樹された桜並木は毎年見事な花を咲かせています。この桜満開に合わせて鴨居の活性化、次代の担い手の醸成を目的に平成28年4月2日に「鴨居桜まつり」を実施しました。鴨居商栄会、鴨居連合自治会、緑区役所の共催で「緑区チャレンジ提案事業」として実施し、模擬店は28店、来客数は約1万人で、テレビ朝日で全国放映される等予想以上の盛況となりました。また祭りに先立つ1週間鴨池人道橋下流側200mの桜並木には夜間ぼんぼりを点灯しました。平成29年の第2回桜まつりには模擬店45店が出店、来客数は約1万5千人と更に賑やかになりました。



開会式



桜の下で獅子舞



にぎわう模擬店

3-2 盆踊り

鴨居納涼盆踊り大会は7月の最終金曜日・土曜日に鴨居小学校校庭で行われ、2,000人位集まります。

又、櫓組から屋台に至るまですべて鴨居の有志で行われ、手作りで運営しています。屋台も単位自治会や各種団体の運営で健全なお祭りになっています。以前は踊り手が少なかったのですが、4年前から踊りコンテストを取り入れ、競って踊るよう改善したため踊り手も増え、ますます盛り上がりを見せています。



ステージ上で踊る子供達



模擬店には行列も



踊りコンテスト



コンテスト表彰式

3-3 神輿

鴨居には平成6年から連合自治会傘下の「鴨居神輿会」があり、500Kgを越える大人神輿と150Kgの小ぶりな子供神輿の二基を所有しています。毎年9月の最終日曜日に郷土芸能保存会鴨居囃子



子ども神輿



大人神輿

連中を先導に町内渡御を行っています。要所要所に神酒所を開設し各自治会がおもてなしをしています。担ぎ手は近隣の神輿会から助っ人を集め総勢200人規模で町内を練り歩き、鴨居駅前では大勢

の通行人の前で神輿を左右に振る「よこた」が勇壮です。連合自治会の各種団体の方々のパワーを結集し町を挙げての秋祭りです。

平成29年からは一般の地域住民による神輿渡御も始まり、高校生以上の老若男女の参加が許されているので担いでみたい方の参加を募っています。



地域の一般住民による渡御



今は懐かしい花篋会の花篋

3-4 運動会

地域住民の体力の向上を目指し 第1回大運動会（健民祭）を昭和34年に開催し、今年度（平成29年度）は59回目の鴨居大運動会として継続しています。スポーツ推進委員会が運営の実際を担当し毎年10月に開催しています。町内を4チームに分け、赤チーム；第一・第五地区自治会、紫チーム；第二・第三地区自治会、黄チーム；第四地区自治会、青チーム；第六・第七・第八地区自治会の各チームが鴨居小学校のグラウンドで総合優勝を競いあいながら、幼児から高齢者まで多くの鴨居住民が体力の向上と親睦を図っています。



ケツダンカ



総合リレー



綱引き



浮袋抜けリレー

3-5 悪魔祓い

鴨居の伝統行事である「悪魔祓い」は、毎年正月3日に申し込みのあった家庭や団体などを訪問して「邪鬼や厄」を祓い清めるため、部屋に入り獅子舞を行って来ました。平成元年前後は毎年120から150軒程の申込があり、何班かに別れて回っても朝から夜まで掛かるほどの盛況でした。平成23年からは3日に拘わらず、松の内に実施すべく鴨居連合自治会・鴨居芸能保存会・鴨居消防班で調整の上、正月の風物詩として実施しています。特にご不幸に見舞われた家は「厄を祓い清める」ため積極的に悪魔祓いを行うことをお勧めしたいものです。悩みの種であった後継者づくりも、小・中学生や中年者数人が加わり、将来に希望の持てるようになってきたことは喜ばしいことです。



外でお囃子演奏



床の間の前でお祓いの踊り



二人で息の合った踊り

3-6 どんど焼き

正月飾りを集めてまち角（辻）で燃やし、団子を焼いて無病息災を願い、書き初めを燃やし燃えた紙が高く舞い上がることによって字が上手になるとの言い伝えがある等日本の伝統行事であるどんど焼きが、何時の日か大気汚染・ダイオキシン発生とかの理由で無くなってしまいました。鴨居はマンション住まいの子供たちも含め、地域の住民にこの伝統を伝えていこうと平成22年から鶴見川の河川敷で復活させました。今では恒例となり団子も無料で提供し盛大な行事に発展しました。



勢いよく燃える正月飾り



待ち構える人人人



無病息災を願ってだんご焼き



3-7 鴨居賀詞交歓会

鴨居連合自治会では平成22年から自治会に關係する各種団体及び学校關係など約50団体で約300人が一堂に集い賀詞交歓会を実施しています。新年を迎え各種団体間の情報・意見交換に役立っていて、何よりもお互いが顔の見える間柄となり日ごろの生活の中でも挨拶ができる關係が出来ている事は有意義であります。自治会としてもいざ災害などが発生した時にお互いを心配するなど自治会活動にとって一番大切な「共助」の原点になっています。今年で第9回となりますが年々盛大になっており、もっともっと一般参加者が増えることを期待しています。多くの住民が懇親を深めて鴨居の町が安全で安心な、健康で楽しい生活が出来る町であることを願っています。



鏡開き



乾杯するカモルド

3-8 節分祭

鴨居杉山神社の節分祭が神社奉賛会、連合自治会、鴨居商栄会と各種団体の協力支援により、平成18年2月4日(土)約500名の参加者を得て第一回目が開催されました。以降恒例の行事となり、平成27年には10回目の節目として地域の協力者に感謝状を贈りこれを称えました。公募した先着30名の豆まき人から頂く奉納料と金品の浄財で賄い、弱者に配慮するため高齢者や子ども優先回を設ける等3回に分けて実施しています。鴨居には鬼は居ないとこの言い伝えから「福は内」だけを唱える習わしとなっています。



お祓いを受ける豆まき人



お菓子や5円玉なども



遠くに投げるのは大変！

3-9 いきいきサロン鴨居／タどきサロン鴨居

鴨居連合自治会では、家に閉じこもりがちな高齢者の「地域の居場所」として、平成22年9月より毎月第2・第4日曜日の10時から15時に「いきいきサロン鴨居」を鴨居中央会館で開催しています。スタッフは毎回3名で、話し相手やコーヒー等の飲み物サー



サロンで落語



サロン写真展

ビスを行っています。利用料は100円。年に8回程ハワイアン、落語、フラダンス等の催事を開催し利用者楽しんで頂いています。利用者は年間600人余で1日当たり25名となっています。

また、お酒が飲める「タどきサロン鴨居」を、平成26年12月から毎月第1金曜日（除く1月）の18時から開催し、若い方を含めて多くの方の交流の場となっています。



タどきサロン

3-10 鴨居駅開業50周年記念事業

昭和37年(1962年)12月25日に請願駅として地元の寄付で作られた鴨居駅は開業50周年を迎えた平成24年12月25日盛大に記念セレモニーを開催しました。記念事業は東本郷・鴨居・竹山・白山・池辺連合自治会の連携協力で開催し、事業の一環として鴨居駅開設に向けての地元の方々の努力の経緯から開業50周年までの記録を後世に残すため記念誌を発刊しました。当時の資料を提供頂き、座談会を開いて当時を知る方々に語って頂き、また子供達から大人まで鴨居駅に対する想いを書いて頂いたりしたものを纏めて発刊し、更に記念セレモニー当日の様子も追補版として残しました。



祝賀会



駅での記念式典



記念誌と追補版

3-11 各種ボランティア団体の活動紹介

1) 鴨居駅周辺まちづくり研究会

平成11年に発足し、ハマロードサポーターとして鴨居駅自由通路や鴨池大橋の清掃等環境美化活動を長年に亘って続け、こうした活動が認められ国土交通大臣から「手づくり故郷賞」を受賞されるとともにエキコン、健康ウォークや歴史散策等を主催して鴨居の魅力を発信し続けています。

2) 鴨居原市民の森愛護会

平成15年にゴミ捨て場のような荒れ果てた森を綺麗な森にしようと立上がり愛護会を結成、平成17年に市民の森として開園しました。地域の協力も得て綺麗な里山になり毎年各種行事を開催して多くの市民の皆さんに楽しんで頂く等地域に根ざした活動をしています。こうした活動から内閣府や国土交通省、環境省からの大臣表彰等を受賞しています。

3) 鴨居おやじの会

鴨居小学校に通う子どもたちの父親中心に、「子どもたちのために何かしよう!」という思いで発足した会で、今では鴨居の行事に「若い力」としてなくてはならない存在になっています。

4. 安全・安心・健康のまちづくりに向けて

4-1 チョイボラの開始

緑区の地区別計画「みどりのわ支え愛プラン」のもと高齢者家庭のお手伝いが出来ないかと話し合いがもたれ、業者に頼む程の事では無いチョットした作業、例えば庭の草むしりや手の届かない天井の電球の交換、或いは庭木の枝切りなどニーズは多岐にわたりますが「私がやってあげるよ」と手を上げて下さるご近所さんまたボランティアさんが多数おられます。でも無料では気が引けることを考慮して格安でお願いできる組織、名付けて『チョイボラ』を来年度からスタートすることになりました。取りあえずは1年間の試験期間を経てよりよい形に改変し、魅力有る組織に育て上げていきます。力のある方が家具の移動、料理の得意な方によるおいしい食事作り等々あなたのお力を発揮出来る場に育っていけばと夢を膨らませています。

4-2 ささえあい

鴨居地区も高齢化の波が押し寄せています。一人暮らしの方の中には日常一言も言葉を発すること無く過ごされている方も居られる現実を見ますと、隣近所の声かけの大切さが解ります。

人に優しい住みやすいまち作りを目指して、鴨居地区社会福祉協議会・鴨居連合自治会共催で「鴨居福祉まつり」を開催して



ます。多くのボランティア団体と共に作り上げている「鴨居福祉まつり」は今年17年目を迎え、子どもからお年寄りまで誰もが参加出来る楽しいふれあいの場となっています。また、社協では平成9年から在宅で援護を必要とする高齢者や障がいのある方々の生活支援と見守りを目的に手作り感のある温かいお弁当を毎週お届けしたり、高齢者の方を対象にお食事会、リハビリ教室の開催等お年寄りに交流の機会を提供しています。また災害時に迅速な救助・助け合いが出来るよう援護を必要とする方向けの「ささえあいカード」や自分の無事を知らせる「黄色いリボン」の活用を充実させると共に、「安全・安心・健康」のまちづくりに向けて、高齢者も地域の一員として持っている知恵袋を出して頂けるような仲間づくりを考えて行ければと思います。



4-3 防災・防犯活動

鴨居では大災害は昔鶴見川の氾濫があったと聞くぐらいで最近30年間では皆無です。しかし平成7年の阪神淡路大震災、平成23年の東日本大震災や異常気象による集中豪雨などを見聞きして、誰しもがその恐怖を感じ、そして被災された方の大変さも身に染みて感じました。

鴨居では防災拠点は鴨居小学校、東鴨居中学校、緑小学校の3か所あり、各防災拠点で毎年防災訓練を実施しています。ここ鴨居でも震度6クラスの地震がすぐにでも発生する確率が高いと言われており、実際に即した被災者の受入訓練や被災者自身も参加した避難所の設営・運営訓練を実施して非常時に備えています。

防犯についても犯罪を未然に防止するためには犯罪が出来ない環境を作ることが大切です。

防災も防犯も各自が自分の問題ととらえて、第1に自身を守る自助、第2に近隣の協力で守る共助、行政からの公助は3番目となります。連合自治会としてはチョイボラ等の活動を通して共助に繋がる近隣の助け合いへの取り組みを支援したいと考えています。

4-4 自治会加入促進

地区の自治会に加入してもらうことは何処でも何時でも永遠の課題です。人と人との繋がりが希薄になっていると言われる現在ですが、地域の人々と繋がることは自分や家族が安全に快適な生活を営む上で益々重要になってきていると思います。加入促進に関する最近の活動の一つは、平成28年度の「みんなで地域を考える会」で提案された「加入促進パンフレットの作成」でした。何回もの会議やメールの交換の末、出来上がったA3両面カラーの縦四つ折りパンフレットには鴨居連合と第一から第八地区の紹介に加えてインパクトある文言が記載されました。それは『住んで良かった鴨居』

と『自治会は大人の部活だ』です。緑区はじめ他の自治会で類似のキャッチフレーズが誕生しました。因みに現在の鴨居連合自治会の加入率は、平成29年10月31日現在6,974世帯中約66%ですが、未加入世帯全てにこのパンフレットを配布しました。このパンフレットに掲載された地域のイベント等に参加を募ること等で自治会に加入すると楽しそうだ、大勢の人と繋がることは良い事だということを理解してもらって加入を促進したいと考えています。



加入促進パンフレット

4-5 後継者の育成

各地区で地域住民に鴨居の魅力を知ってもらえるようなわかりやすい情報発信が工夫され、住民が参加し易いイベント等への取り組みが活発に行われることにより、地域イベントへの参加者が増え、その中から次の担い手や後継者が育ってきています。

自治会役員等の後継者探しは、自治会活動に興味を持っている人を探すため回覧にて役員を募るとか、ある単位自治会では消滅した子供会を復活させ、必要とするものはすべて自治会が用意する等全面的にバックアップして子供と親たちが参加しやすいイベント等を実施し、その中で自治会の魅力を感じ取っていただいて、自治会役員・各種団体役員として参加をしていただくよう要請をしています。またイベントには出来るだけ参加するよう働きかけ、終わった後は反省会等で懇親を深め、年配者と若者たちの利害関係のない関係を築くよう心掛けるとか、退職された方達だけでなく仕事をしている方にも役員として活動していただけるよう工夫する等環境を整えて、後継者を探し、育てていきたいと思ひます。

4-6 郷土芸能保存会「鴨居囃子連中」の継続・発展に向けて

鴨居囃子は江戸時代の天保年間に始まる郷土芸能で、鴨居固有の貴重な文化遺産と言えます。後継者不足などにより消滅してしまった囃子連が多い中で、鴨居囃子が現在まで存続できたのは、師匠の方々の努力と共に連合自治会や地域住民の協力も大きかったと思ひます。しかし、鴨居囃子にも存続の危機はありました。師匠方の急逝と後継者不足により、あと数年で消滅かと思われる事態でした。そのような状況に鑑み、鴨居連合自治会では、平成25年、「地域課題を考える会」のテーマとして『鴨居囃子の継承』を取り上げ、地域を挙げて支援の輪を広げました。その活動を契機として、鴨居小学校140周年記念式典では6年生全員による鴨居囃子の演奏が実現し、その中から数名の若い後継者の加入に結び付きました。彼ら、彼女らは中学生の今も積極的に活動しています。またこのような経緯に賛同されて新たに地域の大人の方にも加入して頂きました。連合自治会としては、鴨居囃子の存続に向け、若い後継者が歴史と伝統を継承する意欲を高めるために、お囃子をより身近なものとして多くの方々に知っていただけるよう、正月の獅子舞を始め各種行事への活躍の場を提供するなど、今後とも積極的に支援していきたくて思ひます。



踊りや太鼓で活躍する中学生



神輿の先達も

5. 鴨居連合自治会の歩み

年	1988 S63	1989 H1	1990 H2	1991 H3	1992 H4	1993 H5	1994 H6	1995 H7	1996 H8	1997 H9	1998 H10	1999 H11	2000 H12	2001 H13	2002 H14	2003 H15	2004 H16	2005 H17
会長		黒滝 稔							×			柳下 勤					×	吉田 昌美
連合自治会	鴨居町の地名変更（鴨居1〜7丁目と鴨居町） 鴨居町自治会解散し鴨居第一地区から第八地区自治会設立 鴨居連合自治会発足（新治東部連合自治会から分離独立） 鴨居会館運営委員会設置					鴨居会館移転建設工事着工	鴨居会館落成	盆踊り 子供会主催を連合自治会共催に			鴨居連合自治会発足10周年記念式典		鴨居第八地区自治会館落成	鴨居史刊行 鴨居福祉まつり（共催）開始			鴨居第四地区自治会で挨拶運動開始	鴨居中央会館グラウンドオープン 節分祭開始
各種団体他	白山地区センター開所 四季の森公園開園 東鴨居中学校開校 社協、民児協、青指等も分離発足	鴨居神輿会発足 鴨居食事会、鴨居学童クラブ発足			友愛活動推進員発足 れんげの会発足	れんげの会活動開始	鴨居神輿会加入 手作りを楽しむ会活動開始	二代目消防ポンプ積載車購入 緑警察防犯指導員委嘱	れんげボランティア	鴨居福祉活動センター（ケアプラ前身） 配食サービス開始	鴨居杉山神社奉賛会設立	鴨居駅周辺まちづくり研究会発足 消防団 横浜市消防操法技術協議会出場	鴨居おやじの会発足			鴨居原ふれあいの森準備会発足 鴨居エキコン・駅清掃開始（鴨居まち研）	全国民児連合会表彰 優良民児協表彰	消防器具置場新築・移転 鴨居原市民の森南地区開園・愛護会発足
トピック		消費税実施		雲仙・普賢岳火砕流発生		北海道南西沖地震発生	地下鉄サリン事件 阪神・淡路大震災			消費税率5%へアップ	鴨居駅改築落成	ユーロ発足	鳥取県西部地震 三宅島噴火			鴨池大橋開通 十勝沖地震	中越地震	個人情報保護法制定

2006 H18	2007 H19	2008 H20	2009 H21	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30
吉田	昌美	><	柳下	利一		><	板垣	憲明		><	木村	赴
ホームページ開設、鴨居中央会館落成 鴨池大橋清掃「ハマロード・サポーター」開始		鴨居連合自治会設立20周年記念式典		いきいきサロン鴨居開所 町の魅力写真募集 鴨居賀詞交歓会開始 どんど焼き復活	東日本大震災義援金募集	5連合自治会で鴨居駅開業50周年記念事業開催 福島で研修会（東日本大震災応援） 鴨居連合自治会会員証交付開始	郷土芸能保存会の継続・発展策の検討 5連合自治会で「魅力発見ウォーク」開催	運動会優勝旗新調 タどきサロン鴨居開始	盆踊り踊りコンテスト開始	熊本地震災義援金 第1回桜まつり開催 会館入り口通路の拡幅	チヨイボラ事業の事業化検討 自治会PRパンフレット作成・未加入全世帯に配布	チヨイボラ事業試行開始予定 鴨居連合自治会設立30周年記念賀詞交歓会
「歴史標識」設置（鴨居まち研）	鴨居地区社協設立20周年記念式典 鴨居ケアプラ開所	食事を会館とケアプラの2箇所分割 鴨池大橋に卒業記念壁画設置（鴨居小）	緑区政40周年記念	鴨居杉山神社創建560年祭 鴨池大橋卒業記念壁画6枚設置完了（鴨居小）	鴨居小6年生卒業記念鴨池大橋清掃 鴨池大橋壁画ギャラリ発表会		緑アートパーク開館 鴨池大橋に卒業記念壁画交換（鴨居小）	三代目消防ポンプ積載車購入 鴨居地区13公園に愛護会発足 鴨居地域フェスタ開催	おやじの会15周年	鴨居原市民の森 ふれあい農園開園	東鴨居中開校30周年記念祝賀会	
	新潟県中越沖地震 能登半島地震	岩手宮城内陸地震 白鴫トンネル開通		横浜市防犯灯LED化開始		九州豪雨 東日本大震災		糸魚川市大規模火災 広島豪雨	鬼怒川水害	熊本地震	民生委員制度創設100周年	

鴨居連合自治会区域図と施設・遺産

201	鴨居第一地区自治会
202	鴨居第二地区自治会
203	鴨居第三地区自治会
204	鴨居第四地区自治会
205	鴨居第五地区自治会
206	鴨居第六地区自治会
207	鴨居第七地区自治会
208	鴨居第八地区自治会



自治会館

- 1 鴨居会館
- 2 鴨居中央会館
- 3 鴨居第八地区自治会館



地域防災拠点

- 1 鴨居小学校
- 2 緑小学校
- 3 東鴨居中学校
- (4 鴨居中 (白山地区の拠点))



特別避難場所

- 5 鴨居地域ケアプラザ

広域避難場所

- 6 竹山団地

緑区遺産

- 1 杉山神社の絵馬
- 2 ごはん塚
- 3 辻山の庚申塔
- 4 奇利吹の瀧

横浜市指定文化財

- 5 女神像地神塔

その他

- 6 鴨居小発祥地
- 7 天満宮
- 8 長屋門
- 9 殿谷遺跡
- 10 鴨居原遺跡



発行責任者
 鴨居連合自治会
 会長 木村 赴
 TEL:045-935-1073